



学校だより

令和6年度 5月号
横浜市立庄戸小学校
※学校だよりは
「すぐーる」でも配信しています

笑顔がかがやく 子どもが主役の学校

～感動いっぱい 夢いっぱい 一人ひとりのよさや可能性を引き出す教育を推進します～
庄戸小ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shodo>



一人ひとりの花を咲かせよう

校長 山口 洋幸

始業式、入学式から3週間が過ぎ、子どもたちも新しい環境に少しずつ慣れてきました。春のあたたかな陽気の中、中休みの校庭にはドッジボールをする子、鬼ごっこをする子、長い行列をつくって雲で遊ぶ子など、元気に外で遊ぶ子どもの姿が多くあります。中には、私を誘って得意の鉄棒や上達した竹馬を見せてくれる子などもあります。そんな様子を見て、私は今年の始業式でした話を思い返しました。



春になってみなさんの進級を祝うように桜の花が咲いています。私は桜の花も大好きですが、子どもの頃はチューリップの花が大好きで毎年育てていました。チューリップの歌も大好きです。

さいた さいた チューリップのはなが
ならんだ ならんだ
あか しろ きいろ
どのはなみても きれいだな ♪



私はこの歌の特に最後が大好きです。作詞者の近藤宮子さんは、チューリップの花の色の違いにたとえて、どの友達も同じではなく、一人ひとりによいところがあるよねという思いを込められたのではないかと思います。



この話に添えて、新しい学年でも自分のよいところを伸ばしたり好きなことに挑戦したり、友達と発見し合ったり認め合ったりしてくださいねと話しました。

庄戸小学校の子どもたちがますます素敵な花を咲かせられるよう、教職員一同指導支援を続けていきます。今月もよろしく願いいたします。